

新着図書からおすすめの5冊

(平成24年9月18日掲載)

貸出と予約の開始は**9月18日(火曜日)**、インターネット予約の開始は**9月25日(火曜日)**です。

『絵本をたべる』

寺村摩耶子 著

青土社刊

子どもたちはおいしい絵本をたっぷりたべて育ち、それらを忘れるほど消化してしまふ。

「夜」「感覚」「森」「動物たち」「変身」といったテーマごとに、新鮮でゆたかな味わいをもつ絵本の魅力を紹介する。

著者紹介：1965年大阪生まれ。明治学院大学文学部フランス文学科卒業。著書に『絵本の子どもたち』『タルホ空中飛行器』など。

請求記号：019.5/Te,54

『荒ぶるスサノヲ、七変化』

斎藤英喜 著

吉川弘文館 刊

古代神が仏教と習合し、新しい「神」となる中世神話世界。異国神との合体や閻魔大王への変貌など、パワフルに姿を変え成長するスサノヲの魅力に迫り、近代のイデオロギーとは違う、底深い日本の宗教文化を読み解く。

著者紹介：1955年東京生まれ。日本大学大学院文学研究科博士課程満期退学。佛教大学歴史学部教授。著書に『古事記成長する神々』『アマテラス』など。

請求記号：164.1/Sa,25

『われに明治の父ありき』

邑井操 著

日本経済新聞出版社 刊

人物評論家・邑井操が、反骨精神と人を呑む気性をもった父親の生き方と、その父に大きな影響を受けていた自らの姿を通して、親子の絆とは何かを問う。日中戦争中の1年余に父子が交わした229通の書簡の抜粋を付す。

著者紹介：明治45～平成8年。東京生まれ。人物評論家として企業組織内の生き方を中心に講演、執筆に活躍。著書に『伸びる男はどこがちがうか』『説得力101の法則』など。

『リッツ・カールトンと日本人の流儀』

高野登 著

ポプラ社 刊

人生の価値は、社会や周囲にどれだけ貢献したかで決まる。リッツ・カールトンで「サービスの真髄」を体得し、日本各地で人財・地域づくりのサポートに尽力する著者が伝える、ホスピタリティとリーダーシップ。

著者紹介：1953年長野市生まれ。プリンスホテルスクール(現・日本ホテルスクール)卒業。前リッツ・カールトン日本支社長、人とホスピタリティ研究所

請求記号：289.1/Mu,41

『音楽の名言名句事典』

朝川博ほか著

東京堂出版 刊

音楽家、演奏家、その周辺に生きた人々が残した名言名句から、音楽が生まれた時代とその先に広がる作品や音楽家たちの人生を、図版や写真を多用して紹介する。音楽の名言名句年表付き。

著者紹介：1943年生まれ。音楽之友社『音楽の友』編集長を経て退社。音楽編集者倶楽部「カノン」同人。

請求記号：762.8,A84

所長。著書に『絆が生まれる瞬間』など。

請求記号：689.8Ta,47

※本の内容紹介は、図書館流通センター(TRC) MARCより引用しました。

[→バックナンバーはこちら](#)

[→新着図書の一覧はこちら](#)

[→インターネット予約・貸出についてはこちら](#)

[資料紹介へ戻る](#)

[佐賀県立図書館のトップページへ](#)